

高校生による強盗殺人等事件をはじめ、未成年者が匿名・流動型犯罪グループに関与し、凶悪な犯罪を実行する事件等が発生していることを踏まえ、夏休み前に、生徒に対する啓発、注意喚起等を行うよう、所管の学校及び域内の教育委員会等への周知をお願いします。

8 初児生第 7 号
令和 8 年 6 月 5 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課長
各指定都市教育委員会指導事務主管課長
各都道府県私立学校主管課長
附属学校を置く各国公立大学法人担当課長
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 12 条
第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の担当課長 殿
各国公私立高等専門学校担当課長
各都道府県教育委員会専修学校主管課長
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長

千々岩 良英
(公 印 省 略)

生徒に対する犯罪実行者募集情報等を通じた犯罪行為への加担防止のための
広報啓発資料の活用等について（通知）

先般、栃木県において発生した高校生等による強盗殺人等事件をはじめ、子供たちが「匿名・流動型犯罪グループ」と呼ばれる犯罪集団に関与し、凶悪な犯罪行為を実行する事案が相次いでいます。こうした事案は、被害者に深刻な被害をもたらすほか、利用された子供たちも安易な気持ちで犯行に加担しており、今後の人生に大きな影響を与えます。

また、警察庁の資料（参考資料）によると、令和 7 年中、20 歳未満の者が特殊詐欺の受け子等になった経緯を見ると、「知人等からの紹介」が最多、次いで「SNS による犯罪実行者募集情報への応募」の順になっているなど、若年層特有の状況が見られます。

こうした情勢を踏まえ、警察庁を中心に、文部科学省及びこども家庭庁が連携して、特に若年層の犯罪行為への加担防止のための広報啓発に取り組む必要があるところ、警察庁が、緊急に、主に中学生・高校生段階の子供たちに伝えるべき事項を 5 つのポイントに整理し、三省庁連名の広報啓発資料を作成したところです（別添資料 1）。その上で、特に長期休暇期間は様々なトラブルを抱えやすい時期であること、中学生・高校生段階の子供たちも犯罪実行者として検挙さ

れる実態があることを踏まえ、警察庁から、当該広報啓発資料を活用し、夏休み前に、できるだけ多くの生徒に犯罪実行者募集情報等に応じることの危険性を周知いただきたい旨、依頼がありました（別添資料2）。当該広報啓発資料については、例えば、集会時における注意喚起のほか、教室等生徒の目につきやすい場所への掲示、1人1台端末を活用する際のポータルサイト、ブラウザのお気に入り機能等の活用等の方法で、できるだけ多くの生徒の目に留まるよう、効果的な注意喚起をお願いいたします。また、この度、警察庁において、中学生・高校生等が犯罪実行者募集情報等に応じて犯罪に関与した事例集を新たに作成したほか（参考資料）、警察庁や政府広報オンラインのウェブサイトには、同調圧力を利用するなど、指示役等が心理的に巧妙な働き掛けを行っている事例や相談窓口等を記載した広報啓発資料（それ、「バイト」ではなく「犯罪」です！！）及び、高額報酬をうたう犯罪実行者募集情報の危険性や注意すべき手口とともに、募集に応じてしまった際の対応や相談窓口等について分かりやすくまとめた動画が掲載されています。生徒への注意喚起の際に活用可能な資料として、これらの資料や動画も御参照いただきつつ、適切に御対応いただきますようお願いいたします。

加えて、犯罪実行者募集情報等に応じることの危険性を生徒に周知するに当たっては、警察官等を外部講師として招き、いわゆる「闇バイト」の募集の手口や実態、特殊詐欺等の犯罪実行者となった若者の事例等を用いつつ、注意喚起を行うことが、生徒の危機意識を高める上で効果的です。警察庁から都道府県警察に対しては、夏休みに入る前までに、警察官が学校に赴き、危険性を直接伝え、理解を促す活動を実施するよう指示もされているところ、所轄の警察署と連携して、「非行防止教室」をはじめとする様々な機会を捉えて、同内容を取り扱うことも検討していただくようお願いいたします。

これらのことについて、各都道府県・指定都市教育委員会においては所管の学校（専修学校を含む。以下同じ。）及び域内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校主管課においては所轄の学校法人を通じて私立学校に対し、附属学校を置く各国公立大学法人担当課においては所管の附属学校に対し、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社及び認可した学校に対し、厚生労働省においては所管の専修学校に対して、それぞれ周知いただくようお願いいたします。

周知に際しては、全ての学校に一律に周知するのではなく、その周知先を適切にご判断いただくとともに、各学校において留意が必要な点を整理するなど、効果的・効果的な周知を行っていただくようお願いいたします。

【添付資料】

別添資料1：啓発資料（警察庁、文部科学省、こども家庭庁作成）「今後の幸せな人生のために～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき5つのこと～」（メッセージ）

別添資料2：「生徒に対する犯罪実行者募集情報等を通じた犯罪行為への加担防止のための広報啓発資料の活用について（依頼）」（令和8年6月5日付け 警察庁生活安全局生活安全企画課長、人身安全・少年課長）（別添省略）

【参考資料】

○参考資料（警察庁作成）「今後の幸せな人生のために～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき5つのこと～」（事例集）

○注意喚起資料（警察庁、文部科学省、こども家庭庁作成）

それ、「バイト」ではなく、「犯罪」です！！

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/R0612syonen.pdf>

○警察庁ウェブサイト

いわゆる「闇バイト」の危険性について

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/hanzaishaboshu.html>

○政府広報ウェブサイト

政府広報オンライン 闇バイト

<https://www.gov-online.go.jp/tag/%E9%97%87%E3%83%90%E3%82%A4%E3%83%88/>

（本件連絡先）

文部科学省初等中等教育局児童生徒課
生徒指導室生徒指導企画係

電話番号 03-5253-4111（内線 3298）

E-mail s-sidou@mext.go.jp

今後の幸せな人生のために

～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき **5** つのこと～

警察庁・文部科学省・こども家庭庁

1. 必ず捕まります

逮捕されるまでこき使われます。

強盗をして人が亡くなれば死刑か無期拘禁刑。見張り役でも同罪です。闇バイトを他の人に紹介しただけでも捕まります。

2. 先輩、友達からの誘いでも応じてはいけません

犯行グループは、誰でもいいから身代わりとなる都合のいい使い捨てを求めています。お金が払われると思ったら大間違いです。未成年だから罪が軽いなんてことはありません。

3. 銀行口座やスマホを売ってはいけません

通帳やキャッシュカードを売ることは犯罪です。

二度と銀行口座を作れません。

スマホやSIMカードを勝手に売ることも犯罪です。

4. 外国に渡航すれば、二度と戻れなくなるかもしれません

監禁され、暴力を振るわれることもあります。命を落とすかもしれません。

5. 今ならまだ引き返せます

個人情報を送ってあなたや家族の安全を脅かされても、すぐに110番してください。警察はあなたと周りの方の安全を必ず守ります。

警察庁丁生企発第 366 号
同 丁人少発第 609 号
令和 8 年 6 月 5 日

文部科学省初等中等教育局
児童生徒課長

御中

警察庁生活安全局
生活安全企画課長
警察庁生活安全局
人身安全・少年課長

生徒に対する犯罪実行者募集情報等を通じた犯罪行為への加担防止のための広報啓発資料の活用について（依頼）

平素より警察行政各般に関し、深い御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨今、少年が犯罪実行者募集情報に応募し、また、知人等の紹介に応じるなどして、匿名・流動型犯罪グループに関与し、凶悪な犯罪を実行する事案が相次いで発生しております。

この種の事案は被害者に深刻な被害をもたらすほか、加害者側も安易な気持ちで犯行に加担しており、今後の人生に大きな影響を与えます。「国民を詐欺から守るための総合対策 2.0」（令和 7 年 4 月 22 日犯罪対策閣僚会議決定）では、「関係省庁・関係機関が連携し、国内外における注意喚起及び相談窓口の周知を徹底する」こととされております。このような状況を受け、当庁において犯罪実行者募集情報等に応じることの危険性を周知するため、主に中学生・高校生段階の少年を対象とした広報啓発資料を別添のとおり作成しました。

警察においても、このような資料を活用して、広報啓発に取り組んでいくところ、夏休みまでになるべく多くの生徒に犯罪実行者募集情報等に応じることの危険性について認識してもらうことが必要であることから、貴省におかれましても、学校や都道府県教育委員会等において、当該広報啓発資料を活用して、犯罪実行者募集情報等に応じることの危険性についての周知をしていただけるよう、お取り計らい願います。その際、活用可能な資料については、下記別添資料のとおりですので、これらを参照しつつ、取り組んでいただけるよう、お願い申し上げます。

なお、警察庁から都道府県警察に対しては、学校や都道府県教育委員会等から「非行防止教室」等での警察官等からの啓発について協力依頼があれば、積極的に協力するよう指示しているところです。

【別添資料】

○啓発資料（警察庁、文部科学省、こども家庭庁作成）

今後の幸せな人生のために～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき

5つのこと～

○啓発資料（警察庁作成）

参考資料

○注意喚起資料（警察庁、文部科学省、こども家庭庁作成）

それ、「バイト」ではなく、「犯罪」です！！

●URL：<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/R0612syonen.pdf>

○参考資料集（警察庁ウェブサイト）

いわゆる「闇バイト」の危険性について

●URL：<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/hanzaishaboshu.html>

○参考資料集（政府広報ウェブサイト）

政府広報オンライン 闇バイト

●URL：

<https://www.gov-online.go.jp/tag/%E9%97%87%E3%83%90%E3%82%A4%E3%83%88/>

〒100-8974

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

警察庁生活安全企画課企画法制第2係

今後の幸せな人生のために

～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき 5 つのこと～



警 察 庁

1 必ず捕まります

逮捕されるまでこき使われます。

強盗をして人が亡くなれば死刑か無期拘禁刑。見張り役でも同罪です。

闇バイトを他の人に紹介しただけでも捕まります。

たった一度でも「闇バイト」に手を染めれば、最後には必ず警察に検挙されます。なぜなら、脅し等により、警察に逮捕されるまで使われ続けるからです。

【警察は犯人を必ず捕まえます】

匿名・流動型犯罪グループによるものとみられる犯罪（※）について

警察では、令和7年中に **1万2000人以上** を検挙。

このうち少年は **1300人以上** を検挙しています。

（※）匿名・流動型犯罪グループによるものとみられる犯罪のうち、資金獲得犯罪（詐欺、窃盗、薬物事犯、強盗、風営適正化法違反等）の検挙人員は12,178人（うち少年1,322人）。

関東1都3県において発生した一連の強盗事件では、

18事件中18事件55名（のべ93名） を逮捕。

指示役4名と、**全ての事件で全ての実行役** を逮捕しています。

【重い刑罰が待っています】

○刑法 第240条（強盗致死傷）

強盗が、人を負傷させたときは無期又は六年以上の拘禁刑に処し、**死亡させたときは死刑又は無期拘禁刑**に処する。

【「少年だから」では済まされない】

東京都狛江市の住宅で女性に暴行を加えて死亡させた上、高級腕時計など4点を奪うなどとした**犯行当時19歳**の実行役は**懲役23年の実刑**判決を受けました（東京地裁）。

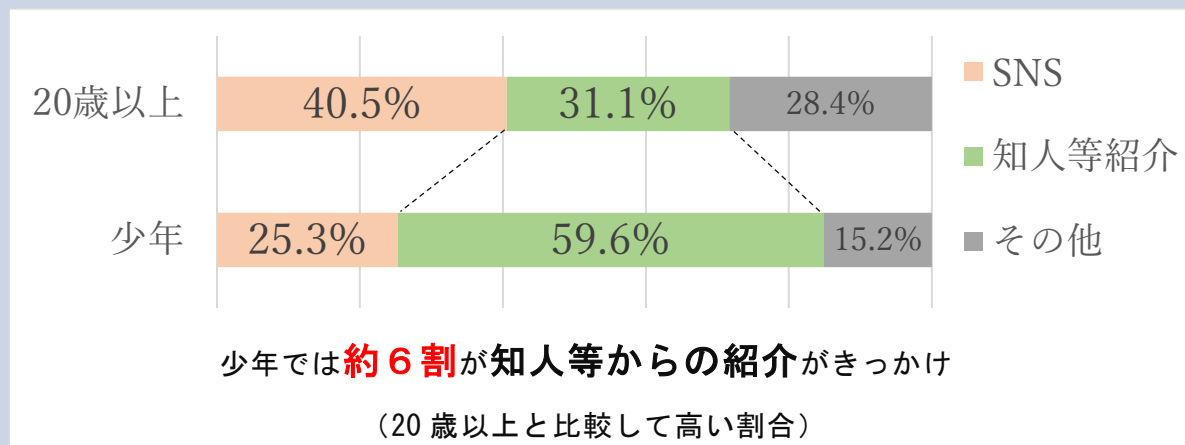
2 先輩、友達からの誘いでも応じてはいけません

犯行グループは、誰でもいいから身代わりとなる都合のいい使い捨てを求めています。お金が払われると思ったら大間違いです。

未成年だから罪が軽いなんてことはありません。

【先輩や友達からの誘いでも絶対にやってはいけません】

○特殊詐欺の受け子等になった経緯（令和7年）



SNS上でつながった知らない人からの誘いはもちろん、親しい先輩や友達からの紹介であったとしても、絶対に応じてはいけません。

（友達から誘われた事例）

○少年は、闇バイトをしていた同級生に誘われて別の友達を誘って闇バイトに参加。指示役からの指示を受け、住宅の窓ガラスを割って侵入し、住人の男性を殴って怪我を負わせた。少年らは強盗致傷罪で逮捕された。

○金に困った少年が、地元の先輩に相談したところ、「闇バイト」を紹介され、窃盗目的で建物に入るも失敗。

失敗を責められ、共犯者から車で連れ回された上、「納得がいくお金を払うまで、家には帰らせない」「お金を払えないならカンボジアに連れて行く」などと現金を脅し取られた。

【お金を払われると思ったら大間違い】

少年は、友達から「一緒に仕事してくれないと俺が殺される。殴られて鼻を折られた」などと闇バイトに誘われた。少年は、報酬が支払われる約束のもと、特殊詐欺の受け子を行ったが、報酬は一切支払われなかった。

3 銀行口座やスマホを売ってはいけません

通帳やキャッシュカードを売ることは犯罪です。

二度と銀行口座を作れません。

スマホやS I Mカードを勝手に売ることも犯罪です。

銀行口座の売買は犯罪です。話を持ちかけられても、絶対に応じてはいけません。最初は単なる儲け話でも、犯行グループから逃れられなくなります。

【銀行口座を売ろうとして巻き込まれたトラブル】

少年はS N Sで知り合った男と、新しく口座を作って売る約束をして、口座を開設した。

その後その男の仲間から「口座を売らなかった時の担保として5万円をくれ」などと要求され、別の仲間からは「金をどうにかして用意しろ」「個人情報さらすぞ」と脅されるなどトラブルに発展した。

少年の寝室にあった銀行の封書を母親が見つけたことで口座開設が家族に発覚したため、少年は正直に事情を話し、警察に相談することとした。

【S I Mカードを不正に転売した事例】

中学生や高校生のグループが携帯電話会社のシステムに不正にログインし、多くのS I Mカードを不正に契約して転売し、そのうちの一部が詐欺事件に利用された。中学生らは逮捕された。

4 外国に渡航すれば、二度と戻れなくなるかもしれません

監禁され、暴力を振るわれることもあります。命を落とすかもしれません。

海外で儲かる仕事に誘われ、海外渡航した結果、犯罪に加担させられる事案が発生しており、脅迫・監禁されることもあります。内容に合わない高額な報酬が提示されるなど、少しでも怪しいと思う仕事には、一切応じないでください。

【海外渡航した人が証言した、悲惨な現実】

○連れて行かれた詐欺拠点は塀が高く有刺鉄線が張り巡らされていた

出入口には銃を持つ警備員がおり、自由に出入りはできない状態であった

○スマホもパスポートも取り上げられた

○マシンガンで武装した者が監視する建物に連れて行かれ、詐欺をさせられた

○ノルマが課され、出来なければスタンガンで暴行される人がいた

○詐欺をやりたくないと言ったら

- ・ 逃げて暴行を受けた日本人の写真を見せられ脅された
- ・ 拳銃や警棒を持って脅された
- ・ 「お前の右腕を落として監禁する」、「臓器を売るぞ」、「家族を殺す」と脅された
- ・ 暴行を受けて骨折した

○ミスをするともアルコールをかけられ火をつけられた

○睡眠薬を大量に入れたビールを飲ませられ泡を吹いて壁に頭を打ちつけられた

○自分が吐いたご飯を食べさせられた

○ぼこぼこに殴られ血を流しながら土下座をさせられた



（左）詐欺拠点の門扉



（右）犯行グループが渡航者から没収していた携帯電話、パスポート、身分証等

5 今ならまだ引き返せます

個人情報を送ってあなたや家族の安全を脅かされても、すぐに 110 番してください。警察はあなたと周りの方の安全を必ず守ります。

○「闇バイト」に応募したら、身分証や自分の顔写真等を送るよう求められます。送信してしまうと、指示に従わなければ自分や家族に危害を加えるなどと脅迫され、逃れられずに犯罪に加担させられるケースが多くあります。

○自分や家族の身が脅かされたら、あるいは自分自身が犯罪に巻き込まれそうだと気づいたら、すぐに相手から逃げ、110 番通報してください。

○警察ではそうした方等から相談があった場合には、必ず保護し、皆さんやご家族の安全を確保します。

【警察による保護措置】

保護の呼び掛けを実施して以降（令和 6 年 10 月～）、多くの人が警察に通報・相談し、警察では

699 件の保護措置を講じています（令和 8 年 5 月末時点）。

当事者の年代別の割合では、

10 代が全体の**約 3 割**、

20 代が全体の**約 4 割**となっています。

これまで保護された方々は、**誰 1 人として襲われていません**。

【参考資料】

○警察庁ウェブサイト

いわゆる「闇バイト」の危険性について

●URL：<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/hanzaishaboshu.html>



・注意喚起資料（警察庁、文部科学省、こども家庭庁作成）

それ、「バイト」ではなく、「犯罪」です！！

●URL：<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/R0612syonen.pdf>



・事例集（警察庁作成）

犯罪実行者募集の実態 ～少年を「使い捨て」にする「闇バイト」の現実～

●URL：<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/yamibaito/yamibaitojirei.pdf>

